



# Project 4

## 犬や猫の殺処分をゼロにしたい

犬猫救い隊

### 犬猫救い隊

~Dog and Cat Rescue Team in Kikugawa~

殺処分は多頭飼育などで市が管理できなくなった場合により行われます。犬猫の菊川市の殺処分の現状は、数がどちらも減ってきているものの、まだゼロになっていません。これから猫を飼おうとしている、もしくは飼っている方に知っておいてほしいことが三つあります。



こんにちは！私たちは菊川市の高校生4人組「犬猫救い隊」です。私たちは菊川市の犬猫の殺処分数ゼロを目標に活動しています。

図1：静岡県の殺処分数

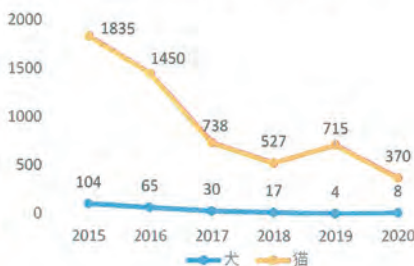


図1のように犬・猫の殺処分数は年々減少傾向にあり、2019年には犬の殺処分数は1桁代に達しました。しかし、猫の殺処分数は依然として3桁台と0に程遠い数字です。

市としては様々な対応をしているものの一般の方による野良猫への餌やりなどで、野良猫の繁殖を手伝ってしまっているのが現状です。

#### 〈知っておいてほしい3つのこと〉

##### 1. 不妊去勢手術

一匹の雌猫は、三年後には2000頭以上になるといわれています。このように繁殖力の強い犬猫は、不妊去勢手術が必要です。手術をせずに飼って大量に繁殖してしまい、手に負えず手放してしまうという事例があります。無駄に動物を増やさないためにも数万円で行える不妊去勢手術をしましょう。

##### 2. マイクロチップ

犬にマイクロチップ（直径2ミリ程）を装着することで飼い主の情報（即時に分かるようになっています。もしペットが迷子になってしまったらマイクロチップで飼い主のもとへ帰ることが容易になります。2022年の6月から数千円でペットに装着させることが義務化されます。

##### 3. 終生飼育

飼っている動物が寿命を終えるまで適切に飼育することを終生飼育といいます。飼い主が亡くなったことにより、ペットが餌をもらえなくて餓死してしまうことがあります。もしもの場合に預けられる人を決めておくことや、自分の年齢とペットの寿命を考えて飼うことが大切です。



**皆さん一人一人の意識の向上が殺処分0を実現します！！**

### 静岡県と菊川市の殺処分の現状

私たちは、地域の動物に関する課題を考えていく中で、殺処分の問題が最初に浮かんだことから、菊川市の犬や猫の殺処分数をゼロにしたいと考えました。現状を把握するため、まずは

静岡県内の殺処分数について調べました。平成27年度から令和2年度まで減少傾向で、犬は1桁まで減少傾向になっていますが、猫の数は300件以上あり、ゼロには程遠い状況です。同様に、菊川市の殺処分数も少なくなっていることも分かりました。

### 保護猫を減らすために必要な3つのこと

市役所の環境推進課の職

次に、保護犬を災害救助犬に活用できるのではと思、「認定NPO法人災害救助犬静岡」を訪ね、災害救助犬の訓練を体験しました。

員にも話を聞き、殺処分数をさらに減らすためには、保護猫の数を減らすことが重要であると教えてもらいました。そのためには、「マイクロチップの交付」「不妊・去勢手術の実施」「終生飼育」の3つが大切ということ、特に、高齢者に向けての終生飼育の啓発が必要という

ことが分かりました。ペットを飼うときに自分の年齢とペットの寿命を考え、最後まで飼育することができないと思ったら、始めから飼わないことや、もしもの時に預けられる人を決めておくことが大切です。これらのことを推進するには、1人ひとりの意識が大切です。そこで、調べたことをまとめた資料（左上）を作成し、高齢者の目に留まるように広報菊川に掲載してほしいと考えました。資料を活用し、市民の意識を高め、殺処分ゼロを実現したいです。



河野 希帆さん(左) 杉本 梨花さん(中央右)  
荒川 舞奈さん(中央左) 望月 俊希さん(右)